

SEOS便り

生者名
憲任者
責任者
責集員
行集員
本編集
寺編集
荒他編

創業五十周年記念式典

社長挨拶

創業五十周年記念式典に際して、社長よりご挨拶を頂戴したので、掲載させて頂きたいと思っております。

本日ここに、(株)ジーエムシー、(株)全日本ガードシ
ステムの創業五十周年記念行事を開催するに当たり
先ずもって皆さん共に、心からお祝い致します。

ここに創業以来、永きにわたり社業発展のために、
その礎を築かれた先輩諸氏のご苦勞と、それを受け
継ぎさらに発展させてきた皆さんのご努力に対し、
改めて敬意を表します。

世界経済は、ワクチン接種率の増加により景況感
が改善しつつも、新たな変異株ウィルスの広がり
により、先行き不透明な状態が続いています。

国内経済も、高齢者を中心にワクチンの普及が進
んではいるものの、度重なる緊急事態宣言やまん延
防止等重点措置の延長を受け、個人向けサービス消
費の減少、雇用環境の悪化が景気回復の重石になっ
ています。

当社においては、今のところコロナ禍による業績
への影響は、幸いにして微弱に留まっていますが、
しかし、依然として人的資源の恒常的不足に悩ま
される中で、激しい環境変化への迅速対応が喫緊の重
要課題となっております。

不透明、不確実な社会情勢の中で、激し
い環境変化に「挑戦」、「創業五十周年」
の輝かしい歴史と伝統を守り抜くためにも、
全社一丸となり、勇気と希望を持って、こ
の困難な時代に「挑戦」していかなければ
なりません。何卒皆様方のご理解とご協力
を心からお願い致します。

最後になりましたが、皆さんと、皆さん
のご家族のご健康とご多幸を祈念し、挨拶
と致します。

ありがとうございます。

記念式典

令和3年8月2日、(株)ジーエムシー
と(株)全日本ガードシステムは創業五
十年の記念式典を執り行う予定でし
たが、本年は新型コロナウイルスの
感染防止を鑑みて、残念ながら式自
体は中止とする運びとなりました。
式は行われませんでしたが、受賞者
の方々には表彰状と記念品が授与さ
れました。簡単にですがご紹介させ
て頂きたいと思っております。受賞された
皆様おめでとうございます。

永年勤続三十年

- ・ 岡野 広之 (設備管理部)

永年勤続二十年

- ・ 阿部 陽児 (業務管理部)
- ・ 全日本ガードシステム
- ・ 白石 博 (常駐保安部)
- ・ 斉藤 一己 (常駐保安部)
- ・ 柿沼 理絵子 (常駐保安部)
- ・ 白根 大輔 (常駐保安部)
- ・ 鈴木 裕 (埼玉支社)

永年勤続十年

ジーエムシー

- ・ 斉藤 勝利 (事業部)
- ・ 大西 巧之 (業務管理部)
- ・ 長部 えり子 (業務管理部)
- ・ 石澤 君子 (業務管理部)
- ・ 阪部 安子 (業務管理部)
- ・ 紙谷 澄恵 (業務管理部)
- ・ 北原 まつ美 (業務管理部)
- ・ 丸 透徳 (横浜支社)
- ・ 坂巻 タカ子 (横浜支社)
- ・ 前田 宗茂 (横浜支社)
- ・ 外崎 静代 (千葉支社)
- ・ 全日本ガードシステム
- ・ 岡本 隆輔 (常駐保安部)
- ・ 田中 竜二 (常駐保安部)
- ・ 小林 貴彦 (常駐保安部)
- ・ 森田 淳一郎 (機械輸送部)
- ・ 渡邊 哲夫 (横浜支社)
- ・ 四辻 茂 (横浜支社)
- ・ 石川 寿夫 (横浜支社)
- ・ 諸星 秀樹 (横浜支社)
- ・ 田村 栄一 (千葉支社)

特別表彰

- ・ 古瀬 純子 (常駐保安部)

令和3年度 標語募集結果 テーマ「感染症対策」

応募総数⁴⁷⁴作品の内、厳正なる審査の結果、以下の方々の作品が入選され、記念品が授与されました。受賞された皆様おめでとうございます。またご参加いただいた皆様ありがとうございました。依然として新型コロナウイルスはワクチン等の決定的な対策方法が見えない状況ですので、気を緩めることなく予防対策を行っていきましょう。

★金賞

GMC横浜支社 細川 友子

『感染を拡大させないその為に ロックしようよその気持ち』

☆銀賞

機械輸送部 小野 佳林

『マスクをしよう 消毒しよう 未来は今から変えられる』

☆銀賞

AGS横浜支社 笹原 一良

『集团で守り続けたこの社会 絆で守ろう 未来の社会』

◎銅賞

設備管理部 身浦 公美

『ワクチンを打って打ち勝つコロナから』

◎銅賞

常駐保安部 水越 一寿

『ワクチン接種後も 慢心を洗い流そう 手洗いうがい』

◎銅賞

AGS管理部 村田 吉史

『コロナ慣れ あの緊張感をもう一度 危機意識を高めよう!』

◎佳作

設備管理部 重田 高志

『三密を守って未来の第一歩 ガマン ガマンでコロナ退散』

◎佳作

業務管理部 佐藤 隆徳

『ソーシャルディスタンス 離れていても 心は密に繋がる』

◎佳作

GMC横浜支社 包國 裕子

『コロナでも考えましょう出来る事』

◎佳作

GMC横浜支社 佐藤 寿美子

『手洗いで 増える安心 減るウイルス』

◎佳作

AGS横浜支社 諸星 秀樹

『予防策一人一人の思いやり あなたの予防が現場を守る』

創業記念式典における特別表彰社員

古瀬 純子 (常駐保安部)

お客様からの信頼も厚く、ヤマシロヤの料金改定に多大な貢献をされました。受賞おめでとうございます。

令和3年 健康増進普及月間

今月は健康増進普及月間となっております。厚生労働省では、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病の特性や、運動食生活などの個人の生活習慣の改善の重要性についての国民一人ひとりの理解を深め、健康づくりの実践を促進するため、毎年9月1日から9月30日までの1ヶ月間を「健康増進普及期間」とし、健康増進に関する普及啓発を行うとの事です。

◆趣旨

人口の高齢化、社会生活環境の急激な変化等によって生活習慣病の増加が大きな問題になっている。生活習慣病は日常生活のあり方と深く関連していることから、国民の健康の保持・増進を図るためには、運動習慣の定着や食生活の改善といった健康的な生活習慣の確立が重要である。このため、食生活改善普及運動と連携して、種々の行事等を全国的に実施するものである。

◆運動の実施期間

令和2年9月1日～30日



◆統一標語

1に運動 2に食事 しつかり禁煙 最後にクスリ
健康寿命の延伸